

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は2021年(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項並びに本大会申し合わせ事項による。
- 2 招集について
 - (1)トラック種目に出場する競技者は招集所(100mスタート地点後方ゲート外)で、フィールド種目に出場する競技者は各競技場で行う。
 - (2)招集時刻は下記のとおりとする。競技日程に記載された完了時刻を確認すること。
- 3 一般のアスリートビブスは大会本部が用意したものをつけること。中学生は各自の県登録アスリートビブスを、高校生も県高体連指定のアスリートビブスを使用すること。
- 4 競技に使用する靴底の厚さは、日本陸連競技規則 TR 5.13.3による。
800m未満のトラック種目(ハードル種目を含む)、フィールド種目(除く三段跳)は20mm
800m以上のトラック種目(障害物競走を含む)、三段跳は25mm
本競技場は全天候競技場であるので先端の鋭利でないスパイクピンを使用すること。スパイクピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投げは12mm以下とする。
- 5 走路順・試技順はアスリートランキングで確認すること。なお、結果速報も確認可能。
[下記のQRコードでアクセスできます。]
- 6 トラック競技予選をタイムレースとし、上位8名で決勝を行う。ただし、同タイムの場合は抽選とする。(同一組同タイムの場合のみ着順を優先する。)
- 7 トラック競技の腰ナンバー標識は右腰やや後方につけること。(リレーはアンカーのみとする)
 - (1)中学・高校100m~400m(ハードル含む)は1~9を各学校で用意する。
 - (2)中学800m,1500m,3000mは招集所で渡す。
 - (3)高校・一般1500m,5000mは招集所で渡す。
 - (4)一般選手の腰ナンバー標識は全て招集所で渡す。
- 8 大会運営上、3000mは11分30秒で、5000mは18分00秒で競技を打ち切る。
- 9 砲丸投・走幅跳は計測ラインを設けることがある。
- 10 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとするが、状況により審判長の判断で変更する場合がある。

走	一般男子	160・180(練)	165以後5cm上げ	195以後3cm上げ
高	中学男子	145・170(練)	150以後5cm上げ	175以後3cm上げ
跳	中学・一般女子	120・140(練)	125以後5cm上げ	140以後3cm上げ

※ 1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。

- 11 投てき競技用具検査は競技場正面入口付近で、1日目9:00~11:00、2日目8:00~10:00に行う。検査を受けていない競技用具は競技場所に持ち込んではいない。
- 12 リレーのオーダー用紙は、予選・決勝とも出場の都度所定のものを(本部受付にある)1部作成

し、各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに本部に提出すること。

- 13 大会中に発生した傷害事故等については、主催者は応急手当はするが、その後の処置については一切責任を負わない。競技者各自は体調に十分注意すること。
- 14 トラック種目で「密」を避けるために荷物運搬を行う。競技役員の指示をうけること。
- 15 練習場所については、競技場正面入口に向かって左側のアスファルト駐車場（コーンで区切っている）、バックスタンドアスファルト通路を含む上段芝生エリア、競技に支障のない時間帯で競技場内バックストレートとする。
- 16 表彰状は大会本部で授与するので、成績発表のおおよそ30分後に大会本部で受け取ること。
- 17 メインスタンドならびに競技場入口からのロビー内は場所取りは禁止する。

記録速報 QR コード

